

開催日	7月14日(木)	会場	城山小学校 体育館
時間	18:00~20:15	参加人数	57名
計画位置付け	令和8年度 小学校統合(釧路小・城山小)		
質問	<p>Q1-1 統合には基本的には反対。小規模な城山小学校だからこそ子ども達は伸び伸びと元気に楽しく過ごしていると思っている。統合されて大人数の学校になった場合、子ども達のフォローはしてもらえらると思うが、今のような学校生活を送ることができるのか危機感を感じている。</p> <p>釧路小学校との統合により、統合によるギャップが生じるのではないかと。義務教育学校で不適應になった場合の対処方法を学校と教育委員会で議論したのか。</p> <p>不適應となった場合には、手厚いアフターフォローをしてほしい。</p> <p>現在、城山小在校中の児童は、統合する際に釧路小へ転校することとなり、また、今後、入学してくる子は大変な思いをすと思う。その場合に備えて学校統合前の越境入学等の緩和策を考えているのか。</p>		
回答	<p>A1-1 釧路市が学校統合を行ったのは、釧路小が開校となった平成20年が一番最後。それ以前には、青葉小なども行っていたが、統合の際にはその3年ほど前から学校間で交流を持って同じ行事を行ったり、実際に学校が統合する際には、教員の半分を統合後の学校に配置するなどの教員人事の考慮もしていた。今後も同じような対応をしていくことを考えている。</p> <p>また、途中での学校の変更が懸念されるということで、統合前に学校を変更できるかということについては、それについては認めていく形を考えている。</p> <p>統合による不適應になった場合について、小学校から中学校に上がる場合に劇的に環境が変わるのであって、統合される学校で同一の行事をすとか、教員の交流等とかを前段で進めていって、子ども達が通いやすい状況にしていくほうが、中学校に上がる段階より影響が少ないのではないかと考えている。</p>		
要望	<p>Q2 意見として、地域から核となる教育施設が無くなることには反対。ただし、幣舞中学校も校舎が古く、津波対策も考えたとき、こういう議論を進めていくことは仕方ない。人口減も含めて、計画を立てていくのはやむを得ないと思う。ただし、地域や父母がなるべく納得できる計画を立ててほしい。小学校でも中学校でも部活動等のスポーツにおいて、単独でチームを組めない学校が市内にあるが、スポーツをやりたい子がきちんとできるような体制づくりをしてほしいということを要望する。</p>		

<p>質問</p>	<p>Q3-1 今後もパブリックコメントや懇談会も予定しているとのことなので、その中で賛成・反対というのを書いていけたらと思う。</p> <p>国の制度で異なる設置者による連携型小学校・中学校の形の説明があったが、市の検討の中ではこの形での導入の可能性があるのか。</p> <p>教員の人事異動や働き方改革の点で、校長が1人になることはわかったが、このように計画が進んでいくと教員の質・量をどのように考えられているのか。</p> <p>学校の中では教員という教育の専門家だけでは解決できない課題があると思う。小中一貫教育におけるスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置に関して、考え方があれば聞きたい。</p>
<p>回答</p>	<p>A3-1 釧路市が目指しているのは施設一体型義務教育学校で、小中9年間を一つの校舎で過ごし、校長が1名であることと、教職員も小中で一つという形で、全市的に目指していきたいと考えている。</p> <p>義務教育学校のほかに、設置者が同じで小学校、中学校が従来のまま、小中一貫の教育をすすめる併設型小学校・中学校があり、校長は従来どおり小中それぞれ配置されて2名、また、教職員もそれぞれ配置されるというものも示している。もう一つは、設置者が異なる形ものを示しており、飛び地で隣接する自治体共同で学校を設置するものなどが考えられるが、異なる設置者によるものは未だ日本では出来ていない。市としては、併設型小学校・中学校は考えておらず、離れた学校同士での小中連携の深化については、今年度から小中連携ジョイントプロジェクトというものを始めたところである。</p> <p>人事の関係は、義務教育学校となると教職員の定数として、小学校の教職員の数と中学校の教職員の数が合わさった数となり、校長が1人減って、その分、教員を配置できるので、数としては増える形になる。そうすると、行事等を催行する場合、教員の一人当たりの負担は軽減されると考えている。</p> <p>スクールソーシャルワーカーやカウンセラーについては、このことで配置が減ったり増えたりするという事はない。</p>

<p>質問</p>	<p>Q3-2 教員育成の課程は、小学校、中学校で課程が違っていると思うが、将来的には、小学校の教員も中学校の教員免許を取るとか、中学校の教員も小学校の教員免許を取るとい形になっていくのか。</p> <p>スクールソーシャルワーカーは、今、教育員会の中に配置されているかと思うが、そこは変わらないということか。</p>
<p>回答</p>	<p>A3-2 小学校の教員、中学校の教員が両方の免許を持っていれば、義務教育学校で両方を教えることができる。例えば、昨年度までは小学校の担任だったが、今年度は中学校で教えるということはある。しかし、両方の免許を持っているという教員は少ない。中学校の理科の免許を持っている教員が、小学校の理科を教えることができるので、教科において乗り入れということができる。小学校の教員は中学校の授業の補助は出来る。このように小中の教員が授業に関わることが重要だと考えている。</p> <p>スクールソーシャルワーカーは資格者であり、心理士資格や社会福祉士等の資格を持つ者を市教委では3名任用している。また、学校での子ども達の悩みの相談を受ける十数名のスクールカウンセラーを任用しており、定期的に学校を巡回している。昨今、不登校の数が右肩上がりになってきており、その状況を考えるとスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを減らすということは考えていない。今後も状況を見ながら適切な人数を配置していきたいと考えている。</p>

<p>質問</p>	<p>Q4-1 今回の地域懇談会が、この計画でいくという話にしか聞こえてこない。先ほど、反対です、と発言される方がいて、反対できるのかと思ったところ。そもそも新聞報道から受ける印象として、地域懇談会は決定事項の説明会であり、既に城山小は廃校するというような書かれており、そういう受け止め方をした。また、新聞では、この懇談会について、反対の意見を述べても良いといったことは書かれていなかった。</p> <p>計画策定の資料について全部ほしいと思うが、配られているのは概要版で、前方に投影されているスライドと比べるとが何枚か抜かれている。</p> <p>先ほどから「不適合」という言葉が出ていて良く解らないので、どの立場から見た不適合なのかわからない。</p>
<p>回答</p>	<p>A4-2 基本計画のたたき台ということで決まったものではない。皆さんがどういう意見をお持ちなのか、どういうところが反対なのか、また、どうやったらより良いものになるのか、そういうご意見をいただく場が地域懇談会として考えている。</p> <p>この場で出たご意見については検討し、そこから、秋に作る予定でいる基本計画の素案というものを作って、それに係る懇談会を開くほか、パブリックコメントを実施し、ご意見をいただく。たたき台をこの場で全員にお配りするのが出来なかったのは申し訳ないが、市のホームページでも出しており、お手数とは思いますが後程ご覧にいただきたい。また、スクリーンとお手元に配布している資料が違うということについて、各会場でいただいたご意見を聞きながら、足りない部分について補いながら作っていることもあり、印刷が間に合っていない。その点については申し訳ない。お配りしたものをご覧になりながら、スクリーンに映される内容や説明をお聞きいただければと思う。</p> <p>「不適合」という言葉については、子ども達が集団の輪に入ったときに、そこで集団生活することで出来なくなってしまう子どもがおり、そういう子どもの対応等を言う。人数が多ければ、その中で仲の良い友達が出来たり、様々な人間関係が出来上がって、そこでの居場所ができるのだが、集団の人数がどんどん少なくなっていくと、一定の友達の関係の中に入っていけないという状況が発生し、そのことを指して不適合という。</p>

質問	Q5-1 統合後の学校に今いる教員が配属されることもあるということをお場で聞いたが、それを知らない父兄は不安に思っているかと思う。親への不安解消を早く図ってほしい。部活動や同好会活動における体育館の使用頻度が今よりもさらに減るのではないかと心配している。学力向上だけではなく体力向上も大事であり、子ども達をバランス良く伸ばしていくことが必要だと思うが、考えを聞きたい。
回答	A5-1 体育館の使用については、城山小・釧路小が統合した場合、各学年2クラスであり、1学年が50人前後ということで、1クラスあたり25人程度の人数となると考えている。他の大規模校では1学年4クラス6学年というところもあった中でも運用が出来ているので、使用に関しては問題ないと考えている。
質問	Q5-2 実際の授業では問題ないと思うが、部活に関しては、複数校による合同チームの場合、その学校に通う子どもがいないと体育館を練習で使用させてもらえないと聞いた。今の状況が悪くなるようでは、統合しても良くならないので、そうした部分も改善してほしい。
回答	A5-2 児童・生徒の数が少なくなっていくと、学校単独で部活動できなくなり、合同チームでやっていかなければならない状況となるというのが、教育委員会としても危機感をもっており、今回の計画策定に向けた動機の一つである。 合同チームの場合、その学校に通う子どもがいないと体育館を練習で使用させてもらえないという状況については、その都度是正する必要があると考える。 小規模学校で伸び伸びと元気に過ごせることは素晴らしいが、逆に人数が少なくなりすぎると、人間関係が固定化して、性格が合わない子ども同士が少ない人数でいた場合は、誰かが我慢しながら過ごしていかなければならなくなることが懸念される。そういう状況は解決すべき問題と考えている。また、部活動においても、そういう状況が出てくる場合もあると考えられる。

質問	<p>Q1-2 義務教育学校で今より手厚い指導を受けても不応は出てくると思う。同様に保護者同士や保護者が教員に合わない等、新しい学校に馴染めない可能性も考えられるが、そうした人へのセーフティネットについて検討委員会では議論されてきたのか。各義務教育学校において、不応となった子ども達の受入れに関する新たな仕組み作りを行うのか、あるいはその必要性の問題意識はあるのか。そうした対応を行った上でもあふれる子は出てくるので仕組みを作ってほしい。検討委員会で議論してほしい。</p>
回答	<p>A1-2 義務教育学校がそもそも、そういうところに対応する手厚い環境を作るものであると教員委員会として考えており、文部科学省も同様である。施設一体型の義務教育学校の中で、中学校の教員と小学校の教員が同居をして、職員室も一つにする。その中で、子ども達の情報を共有して対応していく。また、中学校の教員が小学校の授業に入って専門の授業をするなどの教える機会を通じて、子ども達に関わって対応していくことを考えている。教員の数が増えるという中で、何かしらの手立てを考えていければと思う。</p> <p>また、コミュニティスクールを立ち上げていただいているが、新しい義務教育学校でもコミュニティスクールを立ち上げて、地域の方々にもお願いをして、進めていけたらと考えている。</p>
要望	<p>Q1-3 そうはいつでも人間が作るものなので、必ずどこかしら穴があると思う。穴から落ちてしまった子どもは絶対に出てくるはず。そういう子がいたときに、生き生きと過ごせるようにやっていかなければならない。義務教育学校の理念は大変素晴らしいと思うが、そういう子ども達を守っていく仕組みを作っていただければと思う。そこは持ちかえって検討委員会なりで検討してもらえればと思う。よろしく願う。</p>
要望	<p>Q7 将来振り返って考えたときに、統合して良かったと思うかもしれないし、その逆も考えられるが、実験台にだけはしてほしくないという意見である。</p>

<p>質問</p>	<p>Q8 学校の統合については、今後行っていかなければならないことだとは思いますが、一方で、中高一貫においては、デメリットとして大学受験に弱いということを聞いている。義務教育学校の小中一貫の場合にしても、高校で不登校が増えるのでは懸念しているが、データがあれば調べてほしい。</p> <p>統合により城山小の名前が変わるが、同様に清明小や釧路小も名前が変わるのか。昨年、城山小は100周年を迎えた。協賛部会から校旗を贈呈したが、統合するとなるとすごくもったいない。統合はいつから決まっていたのか。統合については去年の段階でわかっていたのか。</p> <p>城山小の跡地利用はどのように考えているのか。</p>
<p>回答</p>	<p>A8 義務教育学校については、全国各地で設置がされており、全ての学校を義務教育学校にした自治体もある。また、近隣市町村でいけば、白糠町の庶路学園、市内でいえば阿寒湖義務教育学校がある。実績のあるところから大変効果的であるとの報告も受けている。小学校、中学校、高校、大学とギャップはそれぞれあるが、釧路市で小学校、中学校間のギャップが大きな課題である。小学校と中学校は感覚が違い、小学校・中学校の文化の違いというものは確かにある。小中一貫の義務教育学校になると、その垣根がなくなると考えてもらうのが良いと思う。</p> <p>学校の統合という形は、新しい学校を作るということになるので、釧路小、城山小という名前をとるのか、全く新しい名前とするのか等、今後は協議していくこととなる。</p> <p>いつから学校再編の話が出てきたかというのは、昨年度から1年かけて検討委員会で議論を重ねてきた。その時点では、学校名は出ていたが、決定したものではなく検討していた段階であり、公表できる段階ではなかった。そのため、学校名が出てきたのは、この基本計画のたたき台の策定時である。</p> <p>また、跡地については、計画が確定しているわけではなく、未だたたき台の段階であるため、跡地をどうするかは考えていない。</p>

<p>質問</p>	<p>Q9 数年前、家を探していたが、城山保育園に子どもが通っていたときに、アットホームなところが気に入り、この地域に住むことを決めた。城山保育園が無くなる際も説明会で反対意見が出ていたが城山保育園は閉鎖された。城山小があるので我慢した。</p> <p>中学校で学力が下がるという話があったが、中学校は、数校の小学校から子ども達が進学し、小学校よりも人数が増えることで学力低下やいじめの問題が起こるのではないか。統合により小学校の子どもの数を増やせば、中学校で起こっていたことが小学校で起こるようになるのではないか。</p> <p>反対意見が多数あれば、統合の話が無くなるということはあるのか。</p> <p>いじめは、小学校と中学校でその度合いが違うが、仮に義務教育学校となった場合、中学生が小学生の低学年の子をいじめるといった可能性もあるのではないか。再編によって幣舞中学校区から青陵中学校区に変更なる子達もいるのかと思うが、幣舞中へ通学中でも青陵中学校を転校しなければならないのか。入学した中学校にそのまま通い続けることはできないのか。</p> <p>転校となった場合、釧路市の統合の都合で変更されるのに、制服やジャージの買い直しについてどのように考えているのか。</p>
<p>回答</p>	<p>A9 今の城山小学校の先生達や運営が駄目だから統合するという事ではない。本校の先生方は勉強や運動についても子ども達のことを大事に思って頑張っているのは認識している。他の学校も同じように頑張っている。人数が増えるからいじめが増えるということではなく、いじめの深刻さについては、人間関係が固定化するほうが深刻さが増すというのは一般的な話としてある。中学校3年生が小学校1、2年生の面倒見るといのが、今の義務教育学校でみられるところである。中学生3学年がだけよりも、そこに小学生がいるという環境のほうが、いじめをしない、させないということにおいては、良い方向だと考えられる。</p> <p>学力については、小規模校・大規模校に関わらず、学力の高いところもあれば、いまいちというところもある。よって、学校の人数が影響されるということはないと考えられる。しかしながら、小学校から中学校へ進学する際に、ギャップがあることが課題となっていることから、そのために小中連携で取り組む必要があり、取り組みを進めているところである。</p> <p>校区の再編時に、幣舞中学校に入っていた場合は青陵中へ転校とはせずに、卒業までその幣舞中学校に在籍してもらう形で考えている。</p> <p>制服については、義務教育学校等になるときに、協議会の中でそれぞれ協議することとなるため、制服についても今後どうしていくかを協議して決めていく形になる。</p> <p>反対の声があがって計画を撤回することがあるのかという質問だったかと思うが、これまで1年間以上、検討委員会でご提言いただいたことと、たたき台を作成した経過があって、方向性を決めたということまで来ている。今後は、地域懇談会等でいただいたご意見を検討委員会へお伝えして協議をしていく形になる。</p>



質問	Q10 現在、在籍している子どものことを本当に考えているのか。中1ギャップが解消・緩和されるというのはやってみないとわからないのでは。今の子ども達のことを考えて話を進めてほしいと思う。報道で知ったときに、城山小学校が無くなるんだと知った保護者・児童はショックだったと思う。住む地域によってバラバラになる可能性があるならば、学校統合年次の配慮ができないか。今、少ない人数だからこそ、子ども達は伸び伸びと過ごさせてもらっている。
回答	A10 この計画のたたき台については、6月10日に教育委員会として策定して、6月の定例市議会にご報告させていただいた。議会が終わり次第、可能な限り迅速に間を置かず地域懇談会を開催したところ。ご理解いただきたいと思う。 計画における統合について、現状を配慮すべきというご指摘をいただいたところについて、実施年次についてもあり方検討委員会に報告して、再度協議検討を進めていきたいと思う。
質問	Q11-1 今回の話について、地域で説明を求められることも考えられることから、我々が地域住民に説明できるように、小中一貫教育についてももう少しわかりやすく教えてほしい。
回答	A11-1 釧路市は義務教育学校における小中一貫教育を目指していきたいと考えている。釧路市は、今年度から小中連携について、小学校と中学校が情報交換を密にしてやっていこうという段階。そのために、今年度は小中ジョイントプロジェクトを行うとご説明したところ。最終的に目指す義務教育学校は、小学校と中学校が一つの学校になったものであり、そこで連携をさらに深めていけると考えているもの。例えば、中学校の英語の先生が、小学校3年生から始まる英語の授業に乗り入れる。小学校の先生が、中学校の授業に関われる。子どもが小学校のときにトラブルを抱えていたことがあったので、中学校の段階で途切れることなく把握できる。家庭状況を小学校と中学校で共有することにより、兄や姉がいる場合もふまえて状況を把握することが出来る等、そういう形で小中学校の連携を深めていきたいと考えている。小中ジョイントプログラムは義務教育学校の前段の形である。
質問	Q11-2 小学校では、全部1人の先生がクラスを見ている。中学校になると各教科の専門の先生がいる。生徒と先生の関係はどうか。
回答	A11-2 小学校の5、6年生の理科の授業に、中学校の理科の専門の先生が来て教えてくれるという形になる。

質問	Q11-3 小学校、中学校の枠組みがなくなるということか。
回答	A11-3 そのとおり。
質問	Q11-4 城山小学校と釧路小学校が統合となっているが、どう関係するのか。
回答	A11-4 最終的には、幣舞中学校と釧路小学校と城山小学校の3校による義務教育学校を作っていきたいというところであるが、ただ、現在の計画の令和4年度から令和13年度の10年間の計画期間では、3校による義務教育学校を作ることが難しいと考えられるため、まずは、小中連携を進めていきたいと考えている。
質問	Q11-5 青陵中学校と幣舞中学校の校区の変更はどういうことなのか。
回答	A11-5 青陵中学校には、武佐小、湖畔小、清明小を2校へ統合して、将来的には青陵中学校とそれらの2校での義務教育学校を目指すという考えのもの。そのために向けた中学校区の変更である。
質問	Q4-2 そもそもこの計画どおり進めていくということなのでは。検討しますとっているが、進めていく話しかしていない。質疑応答でこちらの意見の何を反映するのか。議会に報告したあとなので周知が遅れましたという話をしていたのに、何をいまさら聞きたいのか。
回答	A4-2 先ほど申し上げたのは、6月10日に教育委員会として計画のたたき台を策定して、まずは市民の代表である市議会議員の皆様へ6月定例会で報告させていただき、議会が終わったあとすぐに、地域懇談会で市民の皆様からご意見をお聞きするという形になったということ。
質問	Q4-3 では、市議会議員は誰の意見を聞いているのか。
回答	A4-3 市議会議員が市民の意見を聞いていくというのはこれからになるのではないかとと思われる。まずは、我々が議会で市議会議員にご報告してご意見をいただいた。今、地域懇談会にて市民の皆様にご説明しご意見をいただいているので、市議会議員も市民の皆様にご意見を聞いていくことになるのかと思う。

質問	Q4-4 既に、議会で決めた決定事項なのではないか。
回答	A4-4 何度も申し上げるが決定事項ではない。たたき台ということで、これを基にご意見をいただいている。
質問	Q4-5 では、新聞に何故あのような書かれ方になるのか。釧路新聞には決定された、と書かれている。
回答	A4-5 まだ、決定ではない。もしそう書いているなら、それは釧路新聞の意見なのではと思われるが。
質問	Q4-6 釧路新聞なのに釧路市は関係ないのか。釧路市に関係なく勝手に書いたということか。
回答	A4-6 そもそも、市が、報道機関である釧路新聞の書く内容をコントロールできるものではない。
質問	Q4-7 釧路新聞の勝手な見解というのか。
回答	<p>A4-7 釧路新聞が記事にどう書くかは関知していない。先ほども説明したように、教育委員会として計画を固めるのは、今年の11月の基本計画（案）の段階となり、12月議会に報告して完成する予定を考えている。その間で、ご意見をお聞きする場は何度もある。もし、意見を聞くつもりがないのであれば、このような意見をうかがう機会を何度も設けるはずがない。</p> <p>市議会の中には、報道各社も入っており、市議会での議論を聞いて報道している。6月定例市議会の場においては、今後、このたたき台を基に市民の皆様にご意見をいただく場面として地域懇談会を開くという報告もしている。釧路新聞をはじめ、報道各社で色々なお考えはあると思うが、釧路市が報道機関をコントロールして記事を出すということとはできない。</p> <p>先ほど、市議会議員が何故先なんだというお話だったかと思うが、まず、市民の代表である市議会議員に市議会において報告するのが先だと考える。そのため地域懇談会の開催は6月定例市議会の後となった。よって、6月の市議会閉会后、可能な限り速やかに地域懇談会を設けた結果が7月4日からの開催となったとご説明したところである。</p>
質問	Q12-1 みんなで反対したら、計画を止めるのか。市民の声が大きくなれば止めるのか。反対意見はどう取り扱われるのか。市民全員に賛成、反対を聞いて、反対意見が多ければ取りやめるのか。
回答	A12-1 市民の1人1人の意見を聞くのはすごく時間がかかるので難しい。

質問	Q12-2 子ども達の将来がかかるのに時間をかけないのか。もっとじっくり時間をかけるべきでは。
回答	A12-2 まず、大きな問題として少子化がどんどん進んでいる。現実的にあと2、3年もすれば、複式学級が出てきて年を追うごとに増えていく。それは教育環境上望ましいとは考えてはいない。よって、いずれかの時点で学校の統合再編は避けられない状況であるが、その中で効果的に様々な課題の解決を図るために、義務教育学校を設置していくことを考えている。既に義務教育学校化したところのアンケートを文部科学省で行っており、8割以上が効果的であったという回答があったところ。再編実施年次については、ご意見を伺いながら検討してまいりたい。
質問	Q1-4 城山小学校のみならず、小規模校が無くなることについて反対である。城山小学校は地域との関わりが深く、この地域から城山小学校がなくなることは、この町が半分なくなるようなもの。もし仮に、学校が無くなった後の校舎の跡利用なども地域で話し合って、市教委に対して要望書を提出しても良いか。
回答	A1-4 城山小学校と地域の結びつきについては感謝申し上げます。地域の方々が学校の跡利用について話し合った内容について、どういう形でお伝えしてもらうことになるかはわからないが、市教委にお越しいただければ思う。

質問	<p>Q13-1 城山小は統合校であり、義務教育学校のメリットを受けることができない。また、この地域で100年続いた学校であり、地域との結びつきも強い。城山小の先生はみんな教育熱心であり、子ども達の学力は高い。この学校では周りの自然環境等を生かした教育もできるということもあり、小規模校のデメリットを超えて、メリットを最大限生かした教育が行われている。推計において令和10年で96名の児童がいるのであれば、まだ複式学級のおそれはないと思う。令和8年度に統合するメリットが見いだせない。この状態で釧路小と統合するほうがリスクであり、計画期間の令和13年度まで様子を見ながら、もう少し時間をかけて考えていくことが必要なのでは。それにより、説明時間も生まれ、保護者も同じ方向に向いて行けるのではないか。</p>
回答	<p>A13-1 推計値でいけば、令和10年時点でも確かに複式学級というところにはなっていないが、先行きが見えない中で推計値を用いながらお話をさせてもらっている。先が見えてしまったからの対応では、学校の統合再編に時間がかかるということを考えると、その間にデメリットが大きくなってしまいう懸念があり、先が見える前に早めに考えていかなければならないと考えている。1クラス15人程度だと複式学級にはならないものの、小規模となると男女比のバラつき多くなり、ある学校では男の子が11人に女の子が2人というクラスもあり、女の子からすると、その2人で一緒に6年間過ごしていく形になっている。それらを踏まえて、城山小と釧路小の統合する形を出していた。令和13年度まで見極めてというご意見もあったので、このご意見は検討委員会にもご報告し、検討を進めていきたいと考えている。</p>
質問	<p>Q13-2 城山小学校のコミスクにおける検討を始めたばかりなのに、その途端に釧路小と統合という話になってしまうが、その際にどういう方向性をもってコミスクで議論しいけば良いか考えを示してほしい。</p>
回答	<p>A13-2 コミスクについては、学校側からアプローチをして関わっていただいている。関わっていただいた方からそういうご意見等が出たことについては、教育委員会としては再度検討すべき課題だと認識したところである。早期にこの話をさせていただいたのは、小中連携を早く進めていきたいと考えた。学力の点からいえば、英語は小学校3年生から始まるので、英語の資格を持たない小学校の先生が教えていくというよりも、中学校の英語の資格を持つ先生ができるだけ早期に関わっていただくというのが良いのではないかと考えたが、様々なご意見をいただいたので、改めて検討委員会にご報告をして議論を進めていきたい。</p>

<p>質問</p>	<p>Q14 小規模校で困ったことは無い。義務教育学校になると中学校の先生が小学校でも教えるというのは良い点だと思ったが、それは、釧路小と統合しなければ出来ないことなのか。幣舞中学校と同じ敷地内ではないとうまく進まないと感じた。今回の件で子どもは意見を聞かれていない。今回の話しは大人の都合なのではないか。地域にも理解してもらう必要があり、乱暴に話しを進めてほしくない。私も賛否を問われれば反対。もし、計画を白紙に戻せるなら、どのように活動し、どのように訴えたら可能となるのか聞きたい。</p>
<p>回答</p>	<p>A14 計画自体を白紙に戻していくというのは市教委としては難しい。圧倒的に反対だということであれば、不可能ではないと思う。しかしながら、教育の有識者や関係者で構成されるあり方検討委員会で議論を進めてきて、今抱えている課題に関して、小中連携や施設一体型の義務教委学校の設置は有効だという結論にいたった。教育委員会としては、この方向性で進めていきたいと考えている。また、市議会においても方向性について反対されている方はそんなに多くないという認識でいる。状況としては、時間が経つにつれ、人数がどんどんと少なくなっていく。多くの学校で複式学級が出てきて、部活動の人数を単独で出来ない状況が予想される中で、小規模学校しかなくなって良いかを皆様にもっとも一度考えていただきたい。現状維持が必ずしも正しいと思っていない。城山小学校のように小規模校で地域とうまくいっている学校があるから、それで方針に反対というのではなくて、問題を抱えている学校も他にもあり、その改善に向けて計画を策定していきたくというもの。</p>